

箱根組ニュース

第386号 2025年 7月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

弘法山公園で野草天ぷらそば・うどんパーティー、蛭にも負けず、合唱も楽しむ15人！

6月15日(日)、小田急線新宿駅発7時30分の快速急行小田原行きに乗車。

朝方まで雨が残っていたが、家を出るときにはほとんど止んでいた。

秦野駅に8時35分着。電車の遅延で及川さんが遅れるとのことで、改札内のトイレ前で少し休憩。

及川さんと連絡がついたので、改札を右に出て北口の地上に降りたところで佐藤さんのストレッツチ、そして布施さんの太極拳を行う。少し雨が落ちていたので駅ビルの屋根の下で。変なところで太極拳をしているので通行する人が「何をやってるの？」という感じにはなった。そうしているうちに及川さんが無事に合流。

ということとで駅前に集まったのは、星野(幸)、佐藤、坂巻、下山、有倉(うどん、そば)、鈴木、川名、奥村(麵つゆ)、布施、及川、神山(てんぷら油)、神吉、戸丸(てんぷら粉、長ネギ)の13名。かつこ内は分担した材料。

9時12分、川名さんのリードで歩き

出す。右に出て、水無川に沿って歩いて行く。次の交差点で左に曲がり平成橋を渡る。すぐに川の反対側で河川敷に降りる。緑もきれいな川沿いの遊歩道はやはり気持ちがいい。

歩いていると西川さんから電話がある。弘法山公園の第一駐車場に着いたとのこと。もしかしたら参加するとは聞いていたがうれしい電話だ。先々月に続いて西川夫妻が参加だ。これで総勢15名になった。公園内のどこかで合流ということになった。

河川敷には一羽のカルガモが身づくろいをしていた。

9時30分頃、遊歩道から車道に上がる。新常盤橋のたもとを左に曲がりまた横断歩道を渡って左に行く。アジサイがきれいに咲いている。道端に一本だけあるびわの実がまもなく食べられそうになっていた。緑色のクルミの実も房状になっていた。

弘法橋を渡ってなおも車道横の歩道を進む。弘法山公園の入り口の看板が右



にある。通常はここから入ってゆくが意外ときつい坂でもあるので、まだ車道横を直進だ。

右側にローソンが見えてくる。その先交差点を右に曲がる。大きな看板があり弘法山2キロ、はだのクリーンセンター0.5キロ、名水はだの富士山の湯入口0.3キロとある。

正面にゴミ焼却工場の煙突が見える。その奥にこんもりとした。緑の山が大きく二つ見える。左側がどうやら権現山のようにだ。少し行くと右側に稲を植えたばかりの田んぼがいっぱいに水を蓄えている。今のコメ不足の日本はいつ

星野(幸)さんより運営費として5000円いただきました。ありがとうございました。打上げの残金100円を繰り入れました。

たいどうなっているのだと思ってしまう。

10時、富士山の湯の横を通過。少しすると車道は狭くなり、ほとんど車も通らなくなる。右側の斜面には早速食べられそうな野草の姿が見られる。「葛の蔓」「蕨」ドクダミ、ヨモギ、

三つ葉、桑の葉など次々に収穫する。特に日陰から明るいとところになるとヨモギは多い。

草の葉に触角の長いキボシカミキリムシを発見。

10時37分、景色が広がって展望地に到着だが、富士山は見えない。陽がさしてきて日向は暑い。

10時44分、再出発。ここからは山道だ。まずは階段状で登る。すぐに右、男坂の看板。これを登れば0.4キロで展望台のある権現山だ。左、女坂を進むが、弘法山まで0.6キロとある。

細い道の両側は草がいっぱいだが、蛭に注意だ。神吉さんがアザミを摘もうとしたら真ん中あたりに大きな蛭が3匹もうねっていた。薄い紫のホタルブクロがすがすがしい色だ。緑の中に青いアジサイが鮮やかだ。弘法山公園の尾根は広い遊歩道になってい

槍ヶ岳(五泊六日)(北アルプス表銀座縦走コース)

7月21日(月) 出発、中房温泉宿泊

7月22日(火) 中房温泉→燕岳・燕山荘泊

歩行4時間10分(燕岳往復十一時間)

7月23日(水) 燕山荘→大天井岳・大天荘泊

歩行2時間55分(大天井岳往復十二分)

7月24日(木) 大天荘→西岳→槍ヶ岳

槍ヶ岳山荘泊

歩行6時間25分(西岳往復十二分)

7月25日(金) 槍ヶ岳山荘→槍沢→明神池

嘉門次小屋泊 歩行6時間半

7月26日(土) 嘉門次小屋→上高地→帰京

歩行1時間

収支
繰越 18105 円
収入 5100 円
支出
ニュース/HP 作成 500 円
当日プリント代 150 円
現在高 22555 円

○出発日の交通 7月21日(月)

新宿発 9:00 あずさ9号松本行
松本 11:39 着 12:18 発

JR 大糸線 普通信濃大町行

穂高着 12:48 7,060 円

新大阪発 8:48 ひかり 500 号

名古屋 9:42 着 10:00 発

しなの7号長野行 松本行

松本 12:04 12:18 発 JR 大糸線
普通信濃大町行

穂高着 12:48 12,790 円

昼食(穂高駅で信州蕎麦)

(バス乗り換え) 14:50 発 中房温泉

15:42 着 中房温泉(宿泊)

○費用(宿泊費込み)

新宿発 約9万7千円

大阪発 約10万6千円

○交通費

新宿発着 7060 円(電車)+1500 円(バス)

+14000? 円(高速バス) 約22,560 円

大阪発着 12790 円(電車)+1500 円(バス)

+16000? 円(高速バス) 約30,290 円



るが、大通りに11時前に到着。右が権現山、左は弘法山だ。少し右に行つたところの芝生で昼食予定だが、トイレの水場に蛭がいたり、誰かの足元に蛭がついたりとちよつとしたパニックになる。北側のベンチのところだと思つてゐるが、草のところに入りたくないと思つてゐる人もいた。トイレに置いてある塩を靴に塗つたり、虫よけスプレーを足元にかけたりと大忙しだった。

そんな中、西川夫妻が権現山方向からやってきて無事合流、再会を喜ぶ。参加

者は15名になった。

とにかく、蛭は命まで取らないから大丈夫ということにして、荷物をベンチのところにおいて身軽で弘法山に向かうことにした。

11時半頃、弘法山山頂着。雲は多いが、秦野方面の景色がよく見える。

鐘楼横の看板で記念撮影をして昼食会場の芝生に戻る。お大鍋のうどん

は有倉さん担当、てんぷらは神吉さん担当だ。うどんが

来、野草のてんぷらが出来る盛り上がる。美味しい蕎麦もあり、西川さん持参の伊東の蕎麦も美味しかった。

食後は、皆で合唱タイム。合唱団が富良野で歌う「瑠璃色の地球」をみんなで楽しんだ。シュガーずも3曲ほど。

2時半頃、出発。西川夫妻は駐車場のある弘法山方向へ、他13名は権現山に向かう。

○表銀座ルート 宿泊費合計 75,330 円 (入湯税別)

1泊目	16,280 円	(2食お弁当別)	(中房温泉)	現金支払い
2泊目	16,050 円	(2食お弁当付き)	(燕山荘)	現金支払い
3泊目	16,500 円	(2食お弁当付き)	(大天荘)	現金支払い
4泊目	15,500 円	(2食お弁当付き)	(槍ヶ岳山荘)	現金支払い
5泊目	10,000 円	(2食付き)	(嘉門次小屋)	カード払い済み

槍ヶ岳装備必需品 ●いつもの物の他に必要なもの

(現金10万円ほど、宿代、ビール代、入湯税、他)

- ① 軽アイゼン ②登山用ヘルメット ③防寒着(ダウンジャケット等)
④着替え(数日分)

●チケットの確保 一か月前予約(それぞれ、6/21 6/26 予約可)

行きの電車、帰りの高速バス 各自予約

7月21日(月) 新宿9:00 あずさ9号松本行

松本11:39着 12:18発 JR 大糸線 普通信濃大町行穂高着 12:48
7,060 円

新大阪発8:48 ひかり500号 名古屋9:42着 10:00発

しなの7号長野行 松本12:04 12:18発 JR 大糸線

普通信濃大町行 穂高着 12:48

12790 円

7月26日(土) さわやか信州号 上高地発

新宿行き 15:50発~新宿 20:37着

大阪行き 16:10発~新大阪 22:05着

展望台からはわずかに雲の間に富士

山が見えた。西方向に降りる予定が、トイレに寄つて方向を間違えて、また、昼食会場に戻つた。でもこちらが平坦で結果オーライだった。

来た道に戻つて秦野駅へ。希望の6名はちよつとだけ打ち上げ。

